|  |
| --- |
| **質保証を伴う国際交流プログラムの構築・実施と目的** |
| **①　交流プログラムの目的・概要等【1ページ以内】**  ○アウトプットだけでなく、アウトカムに関する、具体的で国民にとって分かりやすい目標及び指標が設定されているか。  ○プログラムの実施により大学の国際化がどのように変化・成長するのかをできるだけ具体的に記載されているか。（★）  ○養成する人物像について、大学の強み・特色を活かし、各取組の内容との整合性にも留意しつつ具体的かつ明確に設定されているか。（★） |
| 【国際交流プログラムの目的及び概要等】 |
| 【対象国選定理由】  【国際交流プログラムの目的及び概要】 |
| 【養成する人物像】 |
|  |
| 【本プログラムで計画している交流学生数】各年度の派遣及び受入合計人数（交流期間、単位の取得の有無は問わない） |
| |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 2025年度 | | 2026年度 | | 2027年度 | | 2028年度 | | 2029年度 | | | 派遣 | 受入 | 派遣 | 受入 | 派遣 | 受入 | 派遣 | 受入 | 派遣 | 受入 | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |

|  |
| --- |
| **②　プログラムの概念図【１ページ以内】** |
|  |

|  |
| --- |
| **③　国内大学等の連携図【1ページ以内】** |
|  |

|  |
| --- |
| **④　質保証を伴う国際交流プログラムの構築・実施【８ページ以内】**  ○質保証を伴った大学間交流の枠組みの形成及び拡大に向けた具体的な取組が設定されているか。  ○大学間交流協定等に基づき、安定性・多様性・双方向性を備えた学生交流が計画されているか。（★）  ○質・量の両面で、対象国・地域の大学等との交流を一段と活性化させるために、以下の内容全てを含む計画となっているか。（★）  ⅰ）大学や（教育研究活動を行う国内外の）地域の強み・特色をより一層活かした国際共同学位カリキュラム（ジョイント・ディグリー（以下「JD」という。」）もしくはダブル・ディグリー（以下「DD」という。））や、履修証明（サティフィケート）、マイクロクレデンシャルを構築・発行・提供するなど体系性が高い水準で確保されている計画  ⅱ）より中長期の実渡航人数の増加や教育効果を最大限に高めるために、短期やオンライン交流を含めるなどにより、体系性・多様性が確保されている計画  ⅲ）協働／共修活動を含むことにより、プログラムにおける、双方向性・対話性が確保されている計画  ⅳ）留学する学生に対しての十分な事前・事後の教育や学修支援、卒業・修了後を含む継続的な状況確認等を行うことで、留学の教育効果を把握し、持続させる計画  ○学生が安心してプログラムに参加し、科目選択ができるように、例えば以下の取組を含む計画であること。（★）  例ⅰ）派遣学生に対しては、海外連携大学で取得した単位の認定を保証し、自大学の単位として適切に成績管理をできるようにすることで、学位・履修証明書・マイクロクレデンシャルなどの取得に至る過程を予め明確に示している計画  例ⅱ）受入学生に対しては、日本語以外の言語でも単位取得可能な科目を可能な限り提供し、プログラムに参加する日本人学生と同じような、あるいはこれらの日本人学生と協働／共修できるような、多様な学修機会を確保する計画  ⅲ）例ⅰ）及び例ⅱ）と同等の計画  ○交流する相互の学生の将来のキャリア形成（派遣・受入先に定着するものも含む）につながる計画であること。（★）  例ⅰ）国内外の地域で、連携大学に限らない、企業や研究所、NPO・NGO、国際機関等における交流（インターンシップなど）の実施や、より高い水準の言語・異文化理解のための（正課内・正課外の）科目の開講・提供を行う計画  ⅱ）例ⅰ）と同等の計画  ○海外相手大学が公的な認可等（海外相手大学の所在国における適正な評価団体からのアクレディテーション、IAU（International Association of Universities）のWHED（World Higher Education Database）掲載大学であること等）を受けている大学であるか。  ○国際公募による外国人教員の招聘や海外大学での教育経験または国内外の大学で英語等による教育経験を有する日本人教員の配置、海外相手大学との教員交流、FD等による教育力の向上等、質の高い教育が提供されるよう国際交流プログラムの内容に応じた教育体制の充実が図られているか。  ○JD/DDの設計に当たっては、中央教育審議会大学分科会大学のグローバル化に関するワーキンググループ「我が国の大学と外国の大学間におけるジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリー等国際共同学位プログラム構築に関するガイドライン」（平成２６年１１月）を踏まえたものとなっているか。  ○計画に基づき国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の「高等教育の資格の承認に関する世界規約」において推奨する、「部分的な修学の承認」や「非伝統的な資格取得の形態」により取得された資格の承認・評定（例：学修歴証明のデジタル化、マイクロクレデンシャル）の趣旨や考え方を十分に理解した上で、プログラムが構築されているか。  ○質を保証する観点や学生の適切な判断・選択に資する観点から、取組の実施状況等や国際交流プログラムの詳細等必要な情報について、外国語による提供も含め、積極的に情報の発信を行うものとなっているか。 |
| 【実績・準備状況】 |
|  |
| 【計画内容】 |
|  |

|  |
| --- |
| **必須指標【①～②合わせて４ページ以内】** |
| **①　養成する人物像について**  ○アウトプットだけでなく、アウトカムに関する、具体的で国民にとって分かりやすい目標及び指標が設定されているか。  ○養成する人物像について、大学の強み・特色を活かし、各取組の内容との整合性にも留意しつつ具体的かつ明確に設定されているか。（★） |
| （ⅰ）プログラム計画全体の達成目標（プログラム開始～2029年度まで） |
|  |
| （ⅱ）中間評価までの達成目標（プログラム開始～2026年度まで） |
|  |
| **②　学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準を達成する日本人学生数の推移について**  ○プログラムにおいて設定した外国語力基準（外国語科目の成績や、外部検定試験のスコアなど）を達成する日本人学生数について適切な目標が設定されているか。（★） |
| （ⅰ）本プログラム計画において定める外国語力基準及び同基準をクリアする学生数に関する達成目標 |
| 単位：人（延べ人数）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 外国語力基準 | | 達成目標 | | | 中間評価まで  (ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開始～2026年度まで) | 事後評価まで  (ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開始～2029年度まで) | | 【参考】本プログラム計画において派遣する  日本人学生合計数 | |  |  | | １ |  |  |  | | ２ |  |  |  | | ３ |  |  |  | |
| （ⅱ）外国語力基準を定めた考え方 |
|  |
| （ⅲ）プログラム計画全体の目標達成に向けたプロセス（プログラム開始～2029年度まで） |
|  |
| （ⅳ）中間評価までの目標達成に向けたプロセス（プログラム開始～2026年度まで） |
|  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **③　本プログラム計画において海外に留学する日本人学生数の推移【１ページ以内】**  ○プログラムにおける日本人学生の派遣数について適切な目標が設定されているか。（派遣国、交流期間、実渡航・オンライン・ハイブリッド等）について適切な目標が設定されているか。（★） | | |
| 現状（２０２５年５月１日現在）※１ |  | 人 |
| （ⅰ）日本人学生数の達成目標 | | |
| 単位：人（延べ人数）   |  |  | | --- | --- | | プログラム計画全体の達成目標（プログラム開始～2029年度まで） |  | | 中間評価までの達成目標（プログラム開始～2026年度まで） |  | | | |
| （上記の内訳）  （ⅱ）目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（プログラム計画全体、中間評価までの双方について） | | |
| 単位：人   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 | 合計 | | 実際に渡航する学生 |  |  |  |  |  |  | | 自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 |  |  |  |  |  |  | | 実渡航とオンライン受講を行う学生 |  |  |  |  |  |  | | 合計人数 |  |  |  |  |  |  | | | |
| （ａ）実渡航による交流 | | |
|  | | |
| （ｂ）オンラインによる交流 | | |
|  | | |
| （ｃ）実渡航とオンラインを組み合わせたハイブリッド型の交流 | | |
|  | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **④　本プログラム計画において受け入れる外国人学生数の推移【１ページ以内】**  ○プログラムにおける外国人学生の受入数について適切な目標が設定されているか。（出身国、交流期間、実渡航・オンライン・ハイブリッド等）について適切な目標が設定されているか。（★） | | |
| 現状（２０２５年５月１日現在）※１ |  | 人 |
| （ⅰ）外国人学生数の達成目標 | | |
| 単位：人（延べ人数）   |  |  | | --- | --- | | プログラム計画全体の達成目標（プログラム開始～2029年度まで） |  | | 中間評価までの達成目標（プログラム開始～2026年度まで） |  | | | |
| （上記の内訳）  （ⅱ）目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（プログラム計画全体、中間評価までの双方について） | | |
| 単位：人   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 | 合計 | | 実際に渡航する学生 |  |  |  |  |  |  | | 自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 |  |  |  |  |  |  | | 実渡航とオンライン受講を行う学生 |  |  |  |  |  |  | | 合計人数 |  |  |  |  |  |  | | | |
| （ａ）実渡航による交流 | | |
|  | | |
| （ｂ）オンラインによる交流 | | |
|  | | |
| （ｃ）実渡航とオンラインを組み合わせたハイブリッド型の交流 | | |
|  | | |